

# オーストラリア学会報

Australian Studies Association of Japan

第84号

2018年10月2日

<http://www.australianstudies.jp/>

## 1. 第29回全国研究大会を終えて

第10期代表理事 鎌田真弓

オーストラリア学会第29回全国研究大会が、6月9日(土)・10日(日)の2日間にわたり、筑波大学筑波キャンパスで開催されました。本学会における研究テーマの深化と研究者層の厚みを感じた大会でした。大会の準備と運営に加えてシンポジウムの企画と研究報告を担当された堤純理事と津田博司理事、そして大会運営を支えてくださったスタッフの皆さんに心よりお礼申し上げます。また、豪日交流基金からは多大な助成をいただきました。改めて深く感謝いたします。

開会式では、筑波大学村山佑司先生、オーストラリア大使館文化担当参事官マイケル・ホイ様にご挨拶をいただきました。東京大学客員教授ヘレン・ギルバート先生による特別講演は、オーストラリア先住民による舞台芸術の最新の状況を紹介し、先住民による文化外交が植民地宗主国との和解を提起する可能性を示唆するもので、先住民-非先住民関係の新たな展開を考えさせられました。

豪日交流基金助成による2つのシンポジウムは、'The Past and Present of Australian Studies from Japanese Perspectives'の共通テーマのとおり、世代を越えた登壇者を擁し、本学会での主要な研究テーマを再検討するとともに、新たな視点を提起するものでした。大会1日目は、ケヴィン・オコーナーメルボルン大学名誉教授をお迎えし、谷内達元代表理事が討論者として参加して、物流や人の移動、豪経済のサービス産業化、都市開発の状況から、オーストラリア経済のアジアシフト化が検証されました。2日目のシンポジウムでは、「建国」の歴史をめぐる議論や社会運動、「和解」の現状と認識など、1988年以降の豪先住民をめぐる事象が、歴史学・文化人類学・文学の視点から議論されました。2日目午前中は個別報告にあてられ、雇用形態、外交、日豪関係、日豪の政治比較という、本学会らしい幅広い領域での意欲的な報告がなされました。また、豪日交流基金の助成を得て行った、日本におけるオーストラリア研究・教育の動向に関する調査結果が報告され、本大会に特別参加されたチェン・ホン中国華東師範大学教授により、中国におけるオーストラリア研究の歴史と現状が紹介されました。

第10期理事会では引き続き学際的かつ国際的なオーストラリア研究の場を提供したいと考えています。2019年度は青山学院大学にて、中国オーストラリア学会の協力を得て国際大会を開催いたします。会員の皆さまの積極的なご参加を期待いたします。

## 2. 総会報告

日時：2018年6月10日(日) 13:15~13:45

場所：筑波大学筑波キャンパス 総合研究棟 A110 公開講義室

以下の議題が審議され、承認された。

### 1. 2017年度一般会務報告

- ①2017年度全国研究大会、成城大学で開催
- ②学会誌『オーストラリア研究』第31号発行
- ③「学会報」第81、82、83号発行、会報電子化がスタート
- ④ホームページ、フェイスブック運営
- ⑤FASICS参加
- ⑥地域研究学会連絡協議会

### 2. 2017年度会報編集業務報告

3. AFJ 関連事業報告
4. 2018/2019 年度活動計画
  - ①2018 年度全国研究大会 筑波大学で開催
  - ②地域研究会
5. 2020 年全国大会開催校募集
6. 2017 年度決算・監査報告
7. 2018 年度予算案
8. 査読証明書発行および執筆要項変更について

### 3. 第 10 期第 5 回理事会報告

日 時：2018 年 6 月 9 日（土）10：00～12：00（1 回目）  
2019 年 6 月 10 日（日）12：00～13：00（2 回目）

場 所：筑波大学筑波キャンパス 総合研究棟 A205 室

出席者：青木麻衣子、藤田智子、花井清人、一谷智子、石井由香、鎌田真弓、加藤めぐみ、南出眞助、佐和田敬司、友永雄吾、津田博司、堤純、吉田道代（以上、理事、ABC 順）、白江英司、多田稔（以上、監事）

委任状：5 通

#### 【報告】

1. 花井理事より 2017 年度総務業務報告があった。
2. 加藤理事より 2017 年度会報編集業務報告があった。
3. 佐和田理事より 2017 年度 AFJ 助成金関連を含む企画事業報告があった。
4. 鎌田理事より 2020 年度全国大会開催校募集についての説明があった。
5. 鎌田理事よりメール等が届かない会員への処遇に関し提案があり、議論が行われた。
6. 一谷理事より学会誌の残部の扱いについて質問がなされ、議論が行われた。
7. 鎌田理事より FASIC5（在中国オーストラリア研究基金第 5 回国際会議）に、加藤めぐみ会員、藤岡伸明会員、南出眞助会員が参加したとの報告があった。

#### 【議題】

1. 花井理事、加藤理事より 2018 年度事業計画（会報および編集）に関する報告があり、了承された。
2. 佐和田理事より 2018 年度事業計画について説明があり、了承された。
3. 石井理事より 2017 年度決算案および 2018 年度予算案について報告・提案があり、了承された。
4. 佐和田理事より 2018-19 年度の AJF 助成金および 2019 年度の事業計画についての説明があり、了承された。
5. 鎌田理事より 2019 年度全国大会について「国際大会」としたいとの報告があり、また企画委員会を立ち上げる旨説明があり、承認された。
6. 加藤理事より学会誌『オーストラリア研究』投稿規定変更、査読証明書および J-STAGE 提供のダークアーカイブサービス受諾に関し説明があり、了承された。
7. 石井理事より「会費未納による退会扱いの明文化に関する提案」があり、承認された。
8. 花井理事より全国研究大会一般個別研究報告「発表申し込みフォーム」に関する説明があり、承認された。
9. 鎌田理事より学会関連文書の電子化および一括管理に関して説明があり、承認された。
10. 8 名の入会と 13 名の退会が承認された。

#### 4. オーストラリア学会財務諸表

#### 2017年度決算

#### 貸借対照表

平成30年3月1日現在

科目	当年度	前年度	増減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金	0	0	0
普通預金	3,332,035	4,226,741	△ 894,706
郵便振替口座	2,034,830	536,282	1,498,548
前払金	2,500	5,000	△ 2,500
流動資産合計	5,369,365	4,768,023	601,342
II. 負債の部			
1. 流動負債			
前受金費	11,000	1,000	10,000
未払金	331,560	0	331,560
流動負債合計	342,560	1,000	341,560
III. 正味財産の部			
1. 一般正味財産	5,026,805	4,767,023	259,782
正味財産合計	5,026,805	4,767,023	259,782
負債及び正味財産合計	5,369,365	4,768,023	601,342

#### 正味財産増減計算書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

科目	当年度	前年度	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①基本財産運用益	37	384	△ 347
②受取会費	1,496,000	1,504,000	△ 8,000
③雑誌販売収益	8,328	8,328	0
④大会補助残金	54,295	54,028	267
⑤特別会計からの繰入	0	415,460	△ 415,460
⑥受取補助等	0	67,100	△ 67,100
⑦その他	0	123,750	△ 123,750
経常収益計	1,558,660	2,173,050	△ 614,390
(2) 経常費用			
①事業費			
大会及び研究会旅費補助等	110,000	105,000	5,000
国際学会派遣費用	79,360	154,868	△ 75,508
事業費計	189,360	259,868	△ 70,508
②管理費			
印刷費	350,616	360,200	△ 9,584
会議費	44,310	46,220	△ 1,910
消耗品費	19,440	19,548	△ 108
通信費	95,232	116,539	△ 21,307
謝金	0	10,000	△ 10,000
業務委託費	574,675	556,566	18,109
学会賞購入品	22,745	0	22,745
雑費	2,500	0	2,500
管理費計	1,109,518	1,109,073	445
経常費用計	1,298,878	1,368,941	△ 70,063
当期経常増減額	259,782	804,109	△ 544,327
2. 経常外増減の部			
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	259,782	804,109	△ 544,327
一般正味財産期首残高	4,767,023	3,962,914	804,109
一般正味財産期末残高	5,026,805	4,767,023	259,782
II. 正味財産期末残高	5,026,805	4,767,023	259,782

#### 収支決算書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

科目	予算額	決算額	差異
I. 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
①基本財産運用益	1,000	37	963
②受取会費	1,500,000	1,496,000	4,000
③雑誌販売収入	10,000	8,328	1,672
④大会補助残金	0	54,295	△ 54,295
⑤特別会計からの繰入	0	0	0
⑥受取補助等	0	0	0
⑦その他	14,000	0	14,000
経常収益計	1,525,000	1,558,660	△ 33,660
2. 事業活動支出			
①事業費			
大会及び研究会旅費補助等	120,000	110,000	10,000
国際学会派遣費用	200,000	79,360	120,640
事業支出計	320,000	189,360	130,640
②管理費			
印刷費	360,000	350,616	9,384
会議費	50,000	44,310	5,690
消耗品費	20,000	19,440	560
通信費	110,000	95,232	14,768
謝金	10,000	0	10,000
業務委託費	570,000	574,675	△ 4,675
学会賞商品購入費	30,000	22,745	7,255
雑費	10,000	2,500	7,500
管理支出計	1,160,000	1,109,518	50,482
事業活動支出計	1,480,000	1,298,878	181,122
事業活動収支差額	45,000	259,782	△ 214,782
II. 投資活動収支の部			
III. 財務活動収支の部			
IV. 予備費支出の部			
当期収支差額	45,000	259,782	△ 214,782
前期繰越収支差額	4,767,023	4,767,023	0
次期繰越収支差額	4,812,023	5,026,805	△ 214,782

#### 財務諸表に対する注記

##### 1. 重要な会計方針

##### (1) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式を採用している。

##### (2) 棚卸資産の評価

棚卸資産については、金額的に重要性がないために評価をないものとみなした。

#### 監査報告書

財務諸表及び注記を監査した結果、適正かつ正確であることを報告します。

平成30年 月 日

(印)

(印)

## 財産目録

平成30年3月31日現在

(単位:円)			
貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金預金	手元保管		0
	普通預金	運転資金として	3,332,035
	ゆうちょ銀行口座		3,332,035
	郵便振替口座	運転資金として	2,034,830
	郵便振替口座		2,034,830
	2018年度分担金	地域研究会連絡協議会	2,500
流動資産合計			5,369,365
資産合計			5,369,365
(流動負債)			
未払金			331,560
前受会費収入		翌事業年度会費	11,000
流動負債合計			342,560
負債合計			342,560
正味財産			5,026,805

## 2018年度予算

オーストラリア学会 2018年度収支予算書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

科目	予算額	前年度予算額	差額
I. 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
①基本財産運用益	1,000	1,000	0
②受取会費・入会金	1,500,000	1,500,000	0
③雑誌販売収入	10,000	10,000	0
④その他	14,000	14,000	0
経常収益計	1,525,000	1,525,000	0
2. 事業活動支出			
①事業費			
大会及び研究会旅費補助等	120,000	120,000	0
国際学会派遣事業費用*	200,000	200,000	0
事業支出計	320,000	320,000	0
②管理費			
印刷費	360,000	360,000	0
会議費	50,000	50,000	0
消耗品費	20,000	20,000	0
通信費	110,000	110,000	0
謝金	10,000	10,000	0
業務委託費	570,000	570,000	0
学会賞品購入費	0	30,000	△ 30,000
雑費	10,000	10,000	0
管理支出計	1,130,000	1,160,000	△ 30,000
事業活動支出計	1,450,000	1,480,000	△ 30,000
事業活動収支差額	75,000	45,000	30,000
II. 投資活動収支の部			
III. 財務活動収支の部			
IV. 予備費支出の部			
当期収支差額	75,000	45,000	30,000
前期繰越収支差額	5,026,805	4,767,023	259,782
次期繰越収支差額	5,101,805	4,812,023	289,782

\*海外学術大会参加助成制度細則（2017年6月18日総会承認）により、助成総額は年間最大30万円と定められている。

### オーストラリア学会 30周年記念国際大会個別報告者・パネル発表者募集

オーストラリア学会 30周年記念国際大会は、6月15日（土）・16日（日）の両日に、青山学院大学（青山キャンパス）で開催される予定です。（詳細は会報次号 [2月発行予定] でお知らせいたします）

#### 【個別報告】

個別報告の発表を希望される会員は、氏名と所属（日本語・英語併記）、題目（英語）を明記の上、11月末日までに、学会事務局あて書面（メール可）にてお申し込みください。本大会では個別報告は英語で行われ、要旨も英語となります。200語程度の英文要旨を添付してください。

#### 【テーマ報告】「多文化社会とアート：オーストラリアにおける文化創造の最前線」（仮）パネル発表

大会では上記のテーマで開催校による特別セッションを企画しております。パネル発表を希望される会員は、氏名・所属・題目を日本語で明記の上、11月末日までに、学会事務局あて書面（メール可）にてお申し込みください（発表は原則として日本語。400字程度の日本語要旨を添付してください）。

発表テーマ：多文化社会とアートの関係、アートの社会的影響力、文化創造におけるポリティクスなど。

## 5. 第13回地域研究会（関東例会）報告

佐和田敬司（早稲田大学）

2018年6月23日（土）13:00～17:00に、早稲田大学早稲田キャンパスにて、シンポジウム「ポストファクト時代における Globalizing reconciliation のゆくえ」を開催した。まず塩原良和氏（慶應義塾大学）が「排外主義に対峙するための『ラディカル・オーラル・ヒストリー』再読」と題し、報告を行った。『ラディカル・オーラル・ヒストリー』を念頭に、現代における分断と排他主義の台頭をどのように社会学的に読み解くか、また、排他主義に対峙する規範的理念をどのように打ち立てるかを語った。次に、飯嶋秀治氏（九州大学）が、「Crossing する花卉：エスノグラフィと Reconciliations」と題する報告を行った。『ラディカル・オーラル・ヒストリー』のインパクトを受けながら、グローバルな和解がどのように可能なのか、自身の実践を交えての報告となった。最後に佐和田敬司（早稲田大学）が「ファクトとフィクションを行き来する身体：オーストラリア演劇の事例から」と題して報告を行った。現代演劇がファクトとフィクションのボーダーを自在に超えることで強力なメッセージを発することを、直近に来日公演のあった先住民演劇 Jack Charles v the Crown を事例に論じた。続いて、李孝徳氏（東京外国語大学）と山内由理子氏（東京外国語大学）から、各報告者の『ラディカル・オーラル・ヒストリー』との接点を含めて、質問とコメントがあり、その後フロアも含めて活発な意見交換が行われた。

## 6. 第27回地域研究会（関西例会・福岡会場）のお知らせ

※非会員の方も参加できます。

日時：2018年10月13日（土）14:00～17:00

会場：西南学院大学図書館1F 多目的ホール（図書館入口で入館手続きをしていただきます）

<キャンパスマップ> <https://opac.seinan-gu.ac.jp/library/access/>

住所：福岡市早良区西新六丁目2番92号

交通：福岡市営地下鉄空港線「西新」駅 1番出口より北へ徒歩5分

懇親会：18:00（～20:00頃）に市内の便利な場所で行います。準備のため予約制としますので、参加希望者はなるべく早くお知らせください（下記・南出まで、予約締切り9月末日）。

連絡先：（担当理事）追手門学院大学 南出眞助 [minamide@otemon.ac.jp](mailto:minamide@otemon.ac.jp)

（会場校）西南学院大学 奈須祐治 [nasu@seinan-gu.ac.jp](mailto:nasu@seinan-gu.ac.jp)

\*ホテルは各自ご予約ください。

<共通テーマ：現代オーストラリアの人権問題>

発表①：「現代オーストラリアにおける生・身体・家族——代理懐胎をめぐる」

藤田智子（九州大学）

生殖医療技術の急速な発展と普及は、それまで子どもをもつことが難しかった人びとが「家族をつくる」可能性を拓ける一方で、生殖医療、特に代理懐胎については、女性の身体や子どもの商品化、搾取などの「問題」も指摘されてきた。同性婚が合法化されたオーストラリアでは、代理懐胎への需要がさらに高まる可能性は高い。本発表の目的は、オーストラリアを事例に、バイオテクノロジーの時代における生殖医療を通じた身体の統治について理論的に考察することである。

発表②：「オーストラリアにおけるヘイト・スピーチ規制——『人権法モデル』の可能性と限界」

奈須祐治（西南学院大学）

ヘイト・スピーチ解消法の制定後もヘイト・スピーチは依然として深刻で、多くの論者は罰則付きの規制法の制定を唱えている。ヘイト・スピーチに関しては刑事法による規制に加え、人権法型の規制についても検討を要する。人権法型の規制には固有のメリットがあるからである。オーストラリアでは連邦・州レベルで多様な規制がなされてきたが、中心的地位を占めるのは人権法型の規制である。本報告ではオーストラリアの規制体系の紹介を通じ、人権法モデルの意義と課題を整理する。

## 7. 会費納入のお願い

年会費の請求は年度の始まり4月に行いますが、年会費が納入されると、納入時期にかかわらず未払い年度がある場合そこへ充当されます。たとえば2018年5月に年会費を納入しても、2017年度未払いの場合、それ

は2017年度の会費となります。すなわち、2018年度は未納ということになります。また2016、2017年度未払いの場合、2016年度分の会費納入になります。

<2018年度分会費及び会費が未納の会員の皆様へ>

会費が未納の皆様へは、請求を別便にて送付します。未納年度分(2017年度を含め最多3か年)を速やかに振込票にて納入願います。未着のかたはアカデミーセンター「オーストラリア学会」担当あてまでお知らせ願います。なお、会費振込票に会員名の記載がない場合、振込会員を特定できないため、必ず会員名をお書きください。また原則領収書は発行していません。郵便振替票の受領書などをご利用願います。

会費未納の会員の皆様には、当該年度の会費納入が確認され次第、学会誌『オーストラリア研究』(現在2018年3月発行、第31号)までをお送りしております。事務局では3か年分の在庫を保管しておりますので、順次発送しておりますが、お手元に届くまで若干時間がかかる場合もあります。会費納入にもかかわらず未着の学会誌がありましたら、恐縮ですが、学会事務局(アカデミーセンター)にご連絡ください。

## 8. 会報電子化のお知らせ(再掲)

このたび、オーストラリア学会では先の第82号より会報を電子化いたしました。ただし、第83号など学会直前号は他の配布物と併せ紙媒体での発行を当分の間継続します。会報電子版は学会ウェブサイトに掲載されますが、発行のお知らせについては「マイページ」に登録されています電子メール宛てとなります。アドレスの登録・確認・更新をお願いいたします。

## 9. 『オーストラリア研究』投稿要領の改定について

過日、学会員メーリングリストでお知らせしたとおり、2018年6月30日付けで学会誌の投稿要領を改定しました。変更は第4項です。詳しくは学会ウェブサイトをご覧ください。

また投稿論文の査読を担当した方には「査読証明書」を発行することになりました。学会発展への貢献、および学術的社会貢献ともなりますので、ぜひ査読へのご協力をお願いします。

## 10. 『オーストラリア研究』投稿募集および研究文献目録掲載のお知らせ

『オーストラリア研究』に掲載する論文を募集しています。投稿はいつでも受け付けております。投稿を希望する会員は、早めに編集担当理事・加藤([kato@sw.meisei-u.ac.jp](mailto:kato@sw.meisei-u.ac.jp))にご連絡ください。投稿に関する詳細は、学会ウェブサイト、「投稿要領」(2018年6月30日一部改訂)をご参照ください。

次の第32号の投稿は2018年8月31日で締め切りました。31・32号に掲載された論文は「第3回オーストラリア学会優秀論文賞」の対象となります。

また第12号以降、会員の研究文献目録を継続して掲載しております。引き続き会員の協力をお願いします。発表された著書、論文、報告書、翻訳などのなかから、オーストラリア学会の趣旨に関係する目録未掲載の研究文献を選び、お知らせください。締め切りは2018年10月30日です。編集作業の都合上、電子メールをご利用ください。記入例はバックナンバーを参照し、掲載書式に必ず準ずる形でお送りください。

投稿先: 〒162-0801 東京都新宿区山吹町358-5 アカデミーセンター オーストラリア学会担当

TEL: 03-5937-0249, FAX: 03-3368-2822, Email: [asaj-post@bunken.co.jp](mailto:asaj-post@bunken.co.jp)

## 11. 新刊書のご案内

栗田梨津子『多文化国家オーストラリアの都市先住民: アイデンティティの支配に対する交渉と抵抗』明石書店(2018年3月刊行/四六判/352ページ/4,200円+税)

多文化主義の下で、「文化」や「アイデンティティ」をもつことを当然視されてきた被抑圧者である先住民。要請されるアボリジニ像を踏まえながら、状況や目的に応じて複数の多層的なアイデンティティを使い分け、活用するという先住民の交渉と抵抗のあり方を実証的に検証・考察する。(出版社ウェブサイトより)

アン＝マリー・ジョーデンス（加藤めぐみ訳）『希望 オーストラリアにきた難民と支援者の語り—多文化国家の難民受け入れと定住の歴史』明石書店（2018年9月刊行／四六版／384ページ／3,200円＋税）

世界中で懸案となっている難民問題。オーストラリアの戦後史の一部をなしている難民について、戦争、政治・宗教・民族的迫害等の難民当事者の語りとあわせ言語教育、心理的ケア、庇護申請者へのコミュニティサポートなど具体的な支援のあり方を紹介する。（出版社ウェブサイトより）

谷内達『地理的オーストラリア論』古今書院（2018年9月刊行／B5版／174ページ／3,800円＋税）

オーストラリアは広くない？水資源と農業、人口増加と社会の多様化、天然資源と経済など、詳細な統計データを用いてその実態に迫る。（出版社ウェブサイトより）

**【諸届出／連絡先】**

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター オーストラリア学会 担当  
TEL : 03-5937-0249 FAX : 03-3368-2822 Email : [asai-post@bunken.co.jp](mailto:asai-post@bunken.co.jp)

**【オーストラリア学会事務局】**

〒157-8511 東京都世田谷区成城 6-1-20 成城大学経済学部 花井清人研究室気付  
TEL 03-3482-9403 E-mail : [khanai@seijo.ac.jp](mailto:khanai@seijo.ac.jp)  
会費振込先：00190-3-157063 加入口座名：オーストラリア学会

※ 本会報は学会記録のほか、会員からのご意見や著書・新刊情報などを掲載します。学会事務局までお送りください。なお紙面の制約上、掲載できない場合がありますことをご了承ください。

[編集担当：濱野健（北九州市立大学）／編集協力：藤岡伸明（静岡大学）]